

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合発達支援プラザ ふらっぶ2号館		
○保護者評価実施期間	2025年1月16日		2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年1月16日		2025年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月16日		2025年2月7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問支援を行った後、お子さんの様子や先生方と共有した事項についてを報告書として書面にまとめ、口頭での報告と合わせて保護者・園にもお渡ししている。それにより、訪問支援の目標や今後に向けて共通理解の元進めていく部分等の相互理解につながっているのかと思う。	・報告書にはお子さんの様子と合わせて、具体的な共有事項や今後にむけて等を分かりやすく記載できるようにしている。	・引き続き、簡潔で分かりやすい書面での報告書作成を行い、お子さんの様子や今後の支援についての共有を図っていく。
2	・必要に応じて他職種連携での訪問が行える事。	・訪問支援での介入の際に、目的やどの場面での介入が必要となるかを保護者、受け入れ先とのすり合わせを行っている。そのため、ケースによって他職種での介入が有効と考えられる場合には他職種連携での訪問を行っている。	・他職種連携での訪問のケースが増えてきた際は、振り返りを行いながら活かせる強みや改善点などを検討しながらさらに良い介入ができるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問先での様子、事業所での様子などを伝え合う場にもなっているが、保護者を含めた話し合いの場などを希望する声も多々聞かれた。訪問支援の場だけでなく、担当者会議やケア会議などの活用も行って行けると良い。	・現状、園との情報共有の場は担当者会議又は訪問支援の場であることがほとんどで、通常の事業所での活動や様子は保護者を介して園に伝えている。もう少し短しスパンで3者の話し合いの場があると良いか。	・相談支援専門員を要とした連携、情報共有体制の充実化を図る。
2	・訪問の頻度について概ね良いとの評価をいただいたが、受け入れ先によってはもう少し短いスパンでの訪問の希望も見られた。様子を見て欲しい、園でのかかわりが合っているかを見て欲しいなどの要望もあり、訪問することにより第三者の介入があることが安心にもつながるのかと感ずる部分もある。	・目的に応じた介入と、間接支援を主とした方針であるため、訪問後共有事項を実施して頂きフィードバックを行う形である程度の期間をおいての訪問としているため。	・事業所の方針や訪問支援の介入の目的など、受け入れ先や保護者のニーズと照らし合わせて考えて行く。
3			